

「2009年4月から2012年3月までに当院健康診断センターで 人間ドックを受診された方へのお知らせ」

当院健康診断センターでは、人間ドックを受診される高齢者等に対する的確な対応ができるようにするための研究を、2009年4月から2012年3月までに人間ドックを受診された方の健診データ、カルテ記録、看護記録を用いて検討させていただきたいと考えています。

以下にその詳細を記しますので、もし疑問点などありましたら、遠慮なく下記連絡先にお問い合わせください。

研究課題名：人間ドックにおける高齢受診者等への的確な対応のあり方に関する研究

背景・目的：

平均寿命の延長に伴い、人間ドックへも高齢の方が受診されるようになってきています。しかし、高齢の方の中には心筋梗塞や脳卒中の既往があったり、運動器や認知機能に問題を抱えていたりする方も少なくありません。このため、人間ドックの実施にあたって困難を伴うことが時にみうけられます。

これまで、個別の事例があるたびに、どのように対応すればよいかをその都度検討し、対処してきました。しかし、十分な対応を行うためには、これまでの健診受診者の方々のデータを詳細に分析したうえで、対応のあり方についての方向性を明確にしておくことが望まれると考えています。

そこで、本研究では、高齢の受診者の方々などの現病歴や既往歴などの状況についての集計、分析を行って、特に気を付けて対応することが必要になると考えられる状況としてどのようなものがあるかを把握するとともに、その頻度を確認した上で、そのようなケースに対して、どのような対応が必要か、望まれるかについて検討していく予定です。

方法：

2009年4月から2012年3月までに人間ドックを受診された方について、健診データとカルテ記録、看護記録を用いて研究を行います。新たに検査をお願いしたり、問診をさせていただいたりするようなことはありません。

研究に用いるデータは、健診データなどから今回の研究に必要なデータのみを抽出し、受診者の方の氏名、患者番号などの個人情報を削除した上で、検討に用いさせていただきます。したがって、受診者の方の個人情報が外部に漏れる心配はありません。また、検討の結果は、学会演題や学術論文として発表する予定ですが、これについても、受診者の方の個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。

なお、研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では学内研究費のみを使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。

疑問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。

また、この研究に自分のデータを使用されることに「不同意とする」ことも可能ですし、それにより何らの利益、不利益が生じることもありませんので、その場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

問い合わせ先

川崎医科大学 健康管理学 関 明穂
(住所) 〒701-0192 岡山県倉敷市松島 5 7 7
(電話) 086-462-1111 (内線) 26505 (健康管理学実験室)
(FAX) 086-464-1040
(メールアドレス) aki.seki@med.kawasaki-m.ac.jp